

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

大阪府		
学校名	管理機関名	設置者の別
大阪教育大学附属池田小学校	国立大学法人大阪教育大学	国立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
大阪教育大学附属池田小学校	https://fuzoku-ikeda.oku.ed.jp/kyoiku/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL
大阪教育大学附属池田小学校	https://f-ikeda-e.oku.ed.jp/home/wp-content/uploads/2023/03/R04_jikotenken-1.pdf

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・ 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

1年に1度、地域の警察・消防・行政および近隣住民の方を招き、学校安全管理委員会を開き、その場で附属池田小学校の安全教育や危機管理の実施状況の報告を行い、助言を頂いている。

令和4年度は、「子供とつくる学び」をテーマに、全国規模の教育研修会を対面で

実施した。350名限定での公開であったが、安全科を含む22本の授業と公開不審者対応訓練を行った。

また、安全科のカリキュラムを見返すべく、カリキュラムの実施状況を確認し、他校でも実施可能なカリキュラムの再編を行っているところである。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、児童が身の回りの様々な危険を知り、その危険に対処する方法を学ぶこと、および自他の生命を尊重し、安全な社会の形成者となることを目標としている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校の児童対象学校教育診断において、8割以上の児童が「安全科」の授業について「楽しい」「どちらかといえば楽しい」との肯定的な思いを持っている。これは、単なる安全指導ではなく、自分たちで身の回りにある危険の回避について考えることができる資質能力の育成をねらいとし、児童たちの主体性を育てているからと考える。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、フィールドワークや社会見学等の実施を十分に行うことが難しい時期もあり、より実感を伴った理解を高めることに課題がある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

コロナ禍以前の学習形態、学習活動の中でも、3に示す課題に対応できる部分かどうかを検討していくとともに、コロナ禍で培ったオンライン対応の学習形態、学習内容も効果的に組合せ、児童が社会とつながりながら学び、社会全体で安全な社会を作っていくことの大切さを実感できるようにしていく。